

クラスだより こぼと1組 9月号

長い夏休みも終わり、2学期がスタートしました！
久しぶりに会った子ども達は、少し身長が伸びていたり、ほっぺのお肉が少し減ってシュッとした顔立ちになっていたり、こんがり小麦肌に日焼けをしていたり♡でも、元気いっぱいな姿は変わっておらず、相変わらず賑やかなこぼと1組です！ 2学期は楽しい行事も盛りたくさん☆ どんな姿・成長が見られるのが楽しみにしながら、一人一人と向き合ってゆっくり過ごしていきたいと思います。2学期もどうぞよろしくお願い致します♪



芽が出たじゃがいもを植えるとこんなに成長しました！！

* 種の取り組み *

1学期にカラスノエンドウやビワの実の種、芽が出たじゃがいもなどを土に植えて実験していたことをきっかけに、『種』に興味を持ち、『種あつめ』をすることに。お家で食べた果物や野菜の種をたくさん持ってきてくれて、色んな種類の種が集まりました！ 大きさや色、形を見比べたり、匂ってみたり、「梅干しの種だけ、振ったら音がする！」と発見したり♡ 子ども達が一番驚いていたのは、アボカドや桃の種がすごく大きい事と、キウイの種がゴマより小さい事！ 「この種植えたらどうなるかな？」 「土に植えて実験してみたい！」 「楽器みたーい！」という声がちらほら聞こえてきたり・・・♡種集めから、どう繋がっていくのか・どこに興味に向くのか、子ども達のわくわくが詰まった一言を聞き逃さないように、その時が来るのを待ちたいと思います☆ * まだまだ種を集めていますので、ご協力よろしくお願いします！



びわの中から種を発見！

* 運動会の取り組み *

絵本の中からパラッと落ちてきた1通のお手紙。読んでみると…そのお手紙は、おもちゃの国の王様から、お部屋のおもちゃ達宛てに書かれたものでした！お手紙の中には『人間に動いている所を見つけてはいけないこと』というおもちゃの国のお約束が書かれていました。これを見た子ども達は「え！本当は動いてるってこと！？」 「みんなが帰ってからパーティーしてるんや！」と盛り上がる子もいれば、「怖い・・・」と少し涙目になる子もいました*

お手紙が届いた次の日、森あそびを終えてお部屋に帰ると…片付けたはずのおもちゃが床や机にたくさん散らかっており、「おもちゃが動いたー！！！」 「手紙に書いてた通りやん！！」と大興奮♡ その後しばらくは、少し椅子が曲がっていたり、コップの向きが変わっているだけ「おもちゃの仕業や！」と大騒ぎしていました(笑)

後日、窓の上の誰も届かない高い所に2通目のお手紙が張り付いているのを発見！ そのお手紙はおもちゃの国の王様から、こぼと1組の子ども達宛てに書かれており、中には『おもちゃの国の秘密がバレしてしまった君たちには、特別におもちゃになれる魔法の言葉を教えてあげよう！』という事が書かれていました。「魔法の言葉言ってみる??」と伝えると、目をキラキラさせて喜ぶ姿もあれば、「おもちゃになったら動けへんくなる・・・」 「元に戻られへんかもしれへん。」 「やめて！言わんといて！」と耳を塞ぐ姿も見られました。やりたい子だけおもちゃに変身して楽しんでいると、お友達の姿を見て「全然怖くないやん」と笑顔で参加してきてくれる子ども達でした♡

『変身できそうなおもちゃって何があるか』をみんなで話し合うことに。子ども達の発想は、毎回私の想定を遥かに超えてくるのですが、今回も面白い提案をたくさん聞かせてくれました！

ビー玉⇒みんなで転がる！ パズル⇒お友達とくっいたり離れたりする！ 電車⇒みんなで繋がって進む。
踏切になる人もおる！ 積み木⇒お友達の上に乗って重なっていく！ 製作⇒ハサミになったり折り紙になったり鉛筆になったりする！ など、全部披露したい！ 見せてあげたい！ と思えるような表現ばかりでした♪



マグネットでおもちゃを引っ掛けて、選んでもらい、話し合いをしました。

運動会では魔法の言葉【ばんばかばかばか ひーぱぱ！】で子ども達が4つのおもちゃになり冒険にでかけます♪ 《ロボット・お人形・ジェット機・ロケット》になる予定です。お家の人たちに見てもらおうおもちゃはどれにするか。たくさん話し合い、想いを伝え合い、相手の意見もしっかり耳を傾けて、みんなで一生懸命考えて決まったおもちゃ。どんな表現をするのか、一人一人の表情や動きを楽しみにして下さい☆

運動会当日は、たくさんのお客さんを前にワクワク！ドキドキ！様々な感情の中での姿になるかと思えます。その時のありのままの子ども達を受け止め、温かく見守り、頑張りをたくさん褒めて頂ければと思います♡よろしくお願いします！

今月の讚美歌・歌

♪よるこび ひろげよう ♪フレフレ ほくらのくみ
♪とんぼのめがね ♪おもちゃのチャチャチャ

クラスの取り組み

* 水分補給
お茶をたくさん入れてお持たせ下さい。
* 食事のマナーについて
自分の完食できる量を決め、達成感を味わえるよう声をかけています。

